



くしろ市議会だより

2021年
8月
No.71

News from Kushiro City Assembly

発行／釧路市議会
編集／議会広報特別委員会
釧路市黒金町7丁目5番地

TEL 31-4581 FAX 23-7679
メールアドレス
gi-gikai@city.kushiro.lg.jp

URL ホームページ
https://www.city.kushiro.lg.jp/
shigikai/index.html



フェイスブックページ
https://www.facebook.com/
kushiroshigikai



議会日程

6/10

議会運営委員会

6/11

石炭対策・関連エネルギー調査
特別委員会

6/15

都心部市街地整備特別委員会

6月定例会(会期10日間)

6/16

本会議
市政報告
提案説明
質疑・一般質問

6/17, 18

本会議
質疑・一般質問

6/21, 22

予算決算常任委員会分科会/
各常任委員会審査

6/23

各常任委員会審査
議会広報特別委員会

6/24

各常任委員会審査

6/25

委員会採決
本会議
委員長報告
採決

6月定例会の概要

6月16日(水)に開会した釧路市議会令和3年第3回6月定例会は、6月25日(金)に10日間の会期を終え閉会しました。

開会日の冒頭、市長より「新型コロナウイルス感染症への対応」、「『アドベンチャートラベル・ワールドサミット2021北海道』のオンライン開催」などについて市政報告がありました。

本会議の質疑・一般質問では、15人の議員が登壇し、生理の貧困問題や新型コロナウイルスワクチン接種体制、子育て支援と保育園の民営化、防災対策などに関する質問があり、多岐にわたり議論が交わされました。また各委員会においては、補正予算のほかそれぞれの所管事項についての審査を行いました。(2・3面参照)

25日の本会議採決では、令和3年度一般会計および特別会計補正予算などの議案のほか、「林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書」および「地方財政の充実・強化に関する意見書」を原案どおり可決しました。(4面参照)

(文責・議会広報特別委員会 委員長 伊東尚悟)

上下水道事業審査特別委員会を設置

6月18日(金)の本会議において、「上下水道事業審査特別委員会」を設置し、水道料金および下水道使用料の改定に関する議案について、閉会中も継続して審査することとしました。

委員構成

委員長 草島 守之
副委員長 村上 和繁
委員 伊東 尚悟 森 豊
河合 初恵 大越 拓也
酒巻 勝美

審査日程

月 日	開会時間
7月15日(木)	午前10時
7月16日(金)	
7月21日(水)	午後1時30分

政務活動費の公開

政務活動費は、市政に関する議員の調査研究等の活動のために交付されており(1人月額4万円)、令和2年度の執行額等の実績は右表のとおりとなっています。

政務活動費については、収支報告書や出納簿、領収書等も公開しており、市議会ホームページや市役所1階の市政情報コーナーで閲覧できます。

◎令和2年度 執行額等実績

会 派 名	交付額(円)	実績額(円)	返還額(円)	執行率(%)
自民市政クラブ(9)	4,320,000	402,563	3,917,437	9.32
市民連合議員団(6)	2,880,000	133,360	2,746,640	4.63
公明党議員団(5)	2,400,000	784,981	1,615,019	32.71
日本共産党議員団(4)	1,920,000	1,247,765	672,235	64.99
釧路に新しい風(2)	960,000	374,765	585,235	39.04
新創クラブ(2)	960,000	519,842	440,158	54.15
合 計	13,440,000	3,463,276	9,976,724	25.77

※()内は令和3年3月31日時点の会派議員数

市議会
インターネット
中継を
ご利用ください

市議会ホームページでは、本会議の様態をインターネット中継しています。議場にお越しいただかなくても、気軽に本会議の様子を見ることができますので、ぜひ、ご利用下さい。

※議会傍聴にお越しの際は、新型コロナウイルス感染症防止対策として「マスクの着用」「手指消毒の徹底」「傍聴席での間隔を空けた着席」にご協力をお願いいたします。

◎次回の9月定例会は、9月1日(水)午前10時から開会の予定です。

会派略称説明

自 政 ク 自民市政クラブ

共 産 党 日本共産党議員団

公 明 党 公明党議員団

新 風 釧路に新しい風

市民連合 市民連合議員団

新 創 ク 新創クラブ

本会議

質疑・一般質問

6月16日(水)～18日(金)

■今定例会では、15名の議員が登壇しました。その中から主な質問と答弁をお知らせします。

6月16日(水)



新風 森 豊 議員



※1 「ふるさと納税の取り組み強化に向け、さらなる庁内連携を」

問 ふるさと納税を所管する専任部長を新設するなど、寄付額増加のための取り組みを強化していると感じる。新体制の下、庁内連携が不可欠であると考えますが、どのような取り組みを検討しているのか。

答 寄付額の増加に向け、分かりやすい情報発信や魅力ある返礼品づくりなどの取り組みを進めるとともに、庁内の連携を一層強め、各部署の情報を共有しながら釧路市ならではの特色をしっかりとPRしていきたい。



公明党 松原 慶子 議員



「子宮頸がん予防ワクチンの有効性・安全性の情報提供を」

問 子宮頸がん予防ワクチン無料接種対象者の小学6年生から高校1年生に対し、接種を行うための判断材料として、ワクチンの有効性や安全性の情報提供をすべきと考えるが、今後の予定を示してほしい。

答 ワクチンが無料で接種できることや、有効性・安全性についての情報提供を行うことを目的に、対象者である小学6年生から中学3年生には学校を通じてリーフレットの配布を、無料接種最終年の高校1年生には確実に周知を図るため、はがきによる個別通知を行う予定である。



自政ク 大澤 恵介 議員



「限られた資源を一次産業に集中投資すべきでは」

問 近年、釧路市の産業構造は転換点を迎えている。今後は限られた資源を農業や水産業へ集中的に投資すべきと考えるが見解を示してほしい。

答 釧路地域には、安心安全な食、恵まれた気候の中での水産や豊かな森林があり、これら一次産業の足腰を強化していくことが将来の強みになると考えている。民間がチャレンジしていくことに、行政が投資の意識を持って、共に一次産業を守っていくことが重要である。



市民連合 板谷 昌慶 議員



「ごみ減量化に向け、市民にも分かりやすい目標を」

※2 **問** 一般廃棄物処理基本計画における、資源の有効活用と持続可能な取り組みの推進のためには、分かりやすい目標設定と市民との連携、環境リサイクルの情報発信が必要と考えるが見解を示してほしい。

答 一般廃棄物処理基本計画で掲げているごみ減量の取り組みは、二酸化炭素排出量やごみ処理費用の抑制にもつながるものであり、まずは市民にしっかりと周知することが重要であると考えている。計画に沿ったさまざまな取り組みを市民と連携して行い、各目標達成に向けて進めていきたい。

6月17日(木)



共産党 西村 雅人 議員



「飲食店応援支援金について、全ての業種に拡大を」

問 市では、飲食店を対象に飲食店応援支援金を支給しているが、コロナ不況で苦しむ中小企業対策として、対象を飲食店に限定せず、全ての業種に拡大して支給すべきと考えるが、市の考えを示してほしい。

答 飲食店以外も多くの事業者が影響を受けていることは認識しており、国や北海道の支援金や融資制度についての情報発信を行っている。コロナ禍の厳しい状況乗り越えることが、最も大切と考えており、プレミアム付商品券の発行や商店街への支援を通して、市内全体の消費喚起を図っていく。



公明党 河合 初恵 議員



「一般廃棄物削減に向けた情報発信の強化を」

問 家庭用生ごみ処理機器購入助成金の申請手続の改善や助成額の増額を行うとともに、市ホームページや広報くしろ等で、可燃ごみに含まれているリサイクルが可能な品目の周知など、ごみ削減に向け市民が取り組みやすく分かりやすい情報の発信を強化すべきと考えるが、見解を示してほしい。

答 助成金の申請書をダウンロードできるようにするとともに、申請手続の簡素化による利用状況の推移を踏まえて助成額を検討していく。リサイクル推進に向けて、市ホームページ等で積極的な情報発信に努めていきたい。



自政ク 山口 光信 議員



「公立保育園の民間移管を進め、子育て支援の充実を」

問 現在4園ある公立保育園を民間移管すると1園当たり2,000万円の運営費を削減できる。削減額で屋内施設の建設や医療費無償化などの子育て支援政策を進めるべきと考えるが、見解を聞きたい。

※3 **答** 市立保育園アウトソーシング実施計画を策定した平成20年と現在とでは、0～5歳の人口が9,000人から5,600人に減少するなど、状況が大きく変化している。今後の保育園の在り方について協議をスタートする必要性があると認識しており、まずは庁内での議論を進めていきたい。



市民連合 宮田 団 議員



※4 「『生理の貧困』問題の相談体制強化を」

問 生理の貧困問題について、子どもや女性が相談しやすい環境づくりが必要であると考えている。若い世代に合ったツールを活用し、速やかに必要な支援にたどり着けるような情報発信をすべきと考えるが、見解を聞きたい。

※5 **答** 委託を予定しているNPO法人とも協議をして、相談窓口、訪問支援などのさまざまな観点から支援体制を構築したい。またSNSや電子メールなど、若い女性にも身近で相談しやすいツールを用いた相談体制を整え、市ホームページ等による情報発信も行っていきたい。

6月18日(金)



公明党 秋田 慎一 議員



「成年年齢の引下げに対応した消費者教育の充実を」

問 令和4年4月より、民法の改正に伴い、成年年齢が18歳に引き下げられるが、生徒が消費者トラブルに遭わないための教育をどのように進めるのか、見解を示してほしい。

答 国から、令和4年度改訂の新学習指導要領に基づく消費者教育を前倒しして終えるよう通知があったことを踏まえ、北陽高校では契約やクレジットカードの仕組みなどを履修し、市内小中学校においてもお金の管理や契約行為などについて取り上げている。今後も、それぞれの発達段階に応じて、消費者教育の充実を図っていきたい。



自政ク 三木 均 議員



「釧路港港湾計画及び将来ビジョンの進捗状況の検証を」

問 釧路港港湾計画や釧路港将来ビジョンでは、道東と世界を結ぶ拠点港としての港湾整備を短期プロジェクトと長期ビジョンとに分けてまとめ、港を通じたまちづくりと賑わいの創出を目指している。現時点の進捗状況を検証し、実現へ向け努力すべきと考えるが見解を聞きたい。

答 令和8年の港湾計画改訂に向けて、現況把握や課題抽出を行っているところである。これらの情報を発信するとともに、その上で市が進める取り組みの方向性を示していくことは重要であると考えている。



共産党 村上 和繁 議員



「中小飲食店の上下水道料金値上げ回避を」

問 今回の水道料金の改定に伴い、中小の飲食店においては、上下水道料金が値上げになる。コロナ禍で苦しむ飲食店への値上げは回避すべきと考えるが、見解を聞きたい。

答 上下水道事業審議会の答申で継続すべきとされた本市の水道料金体系は、用途別料金を採用しており、生活用水である家事用は単価を低くし、業務用は家事用と比較して高い単価設定としている。この料金体系を維持しながら全ての部分で値上げをしないことは難しい。



自政ク 草島 守之 議員



※7 「EGGの樹木や草花を開設当初の姿に戻す取り組みを」

問 EGGの樹木や草花が、32年前の開設当初に比べ大幅に減少している。専門知識を持った職員や市民・有志団体等からの指導・協力を積極的に求めながら、本来の姿に戻すよう努力すべきと考えるが見解を聞きたい。

答 EGGには、寒冷地において一年中緑に親しむとともに港の賑わいをつくるという大きな目的があり、そこに向けて取り組んできた。少しでもまちなかの賑わいに貢献し、市民がさらに親しみの持てる施設になるよう、指定管理者と協議しながら取り組んでいきたい。

2 議員名の右に掲載しているQRコードから、スマートフォン等により録画中継をご覧ください。

※の用語解説は4面に掲載しています。

市議会ホームページで発言通告
一覧をご覧ください。



新創ク
畑中 優周 議員



「町内会に関する条例制定の検討を」

問 町内会の実態としては、年々加入率が右肩下がりであり、特に若年層の未加入者が増えることによって会員の高齢化が進み、役員の成り手がいないなど、結果的に活動が大きく停滞する要因となっている。市としても町内会の理解度を深めるために町内会に関する条例の制定に向け早急に検討すべきと考えるが、見解を聞きたい。

答 加入促進に向けた条例制定については、先行する札幌市で賛否両論あると伺っており、まずは、今後の動向を注視していきたい。



共産党
工藤 正志 議員



「学校や公共施設等へ生理用品の設置を」

問 コロナ禍の中、経済的事情で生理用品を購入できない^{※4}生理の貧困が社会問題となっている。学校や公共施設等のトイレへの生理用品の設置が全国的に求められていることから、市としても検討すべきではないか。

答 市では、支援が必要な方たちの相談体制を整えるため、国の交付金を活用し、相談窓口の連絡先などを記載したシールを貼り付けた生理用品を、小中学校の保健室や男女平等参画センターふらっと、生活支援相談センターくらしごとなどで配布する予定である。



共産党
梅津 則行 議員



「介護施設に入所できなかった市民の声をどのように受け止めるか」

問 「今まで税金も納めてきたし、釧路市にも貢献してきた。しかし、人生の最後のときに、こんなに大変なことになった」という介護施設に入所できなかった市民の声をどう受け止めるか。

答 行政は公正に物事を進めていくことが必要である一方で、頑張ってきた方や色々なことを進めてくれた方などの一人ひとりのお気持ちを思ったときに、行政としてさまざまな形で支援をしていくことが大切であると感じている。また、そういった声をしっかり聞きながら、少しでも改善できるような取り組みを市役所一体となって進めることが必要であると認識している。

※の用語解説は4面に掲載しています。

委員会審査

今定例会では、予算決算常任委員会と3常任委員会および2特別委員会の審査を行いました。その中から主な審査内容をお知らせします。

予算決算常任委員会

酒巻 勝美 委員長

今定例会の予算決算常任委員会は、6月21日と22日に各分科会において付託議案に関する審査を行い、25日に各分科会委員長から審査報告を受けた後、採決を行って閉会しました。

総務文教分科会の財政部審査では「企業版ふるさと納税の病院事業会計への繰り出し」や「企業版ふるさと納税の寄付事業者への税控除による市税収入への影響」について、総合政策部審査では「地域振興基金積立金の寄付の傾向」について質疑がありました。

また、民生福祉分科会の市立病院審査では「新棟建設等における企業版ふるさと納税の活用」について、こども保健部審査では「児童福祉施設等衛生環境整備費の使途等」や「新型コロナウイルスワクチン接種事業費の内訳等」、「子育て世帯生活支援特別給付金における体制等」について、福祉部審査では「新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金」について質疑がありました。

総務文教常任委員会

三木 均 委員長

広聴活動の充実 「地域の声に寄り添った広聴体制を」

「新型コロナウイルス感染拡大の影響により今年度の市政懇談会が中止となったが、市民の方々と市長がさまざまな課題について議論し、地域の声を届けることができる貴重な機会である。新型コロナワクチン接種が国の想定通りに進んだ場合には、今年度中に新たな日程で開催できないか。地域の小さな声をしっかり聴ける広聴活動を行ってほしい。」との質問がありました。

理事者は「市政懇談会については、参加者の皆さまの安全確保を考慮し、やむなく中止とした。会場や日程の確保が必要となることから、今年度中の実施は難しいと考えるが、今後も、市長へのポストなどを通じて市民の方々の意見や質問にしっかり対応し、地域の声に寄り添った市政運営に取り組んでいきたい。」と答えました。

経済建設常任委員会

秋田 慎一 委員長

除雪に関する情報提供

「GPSを活用した除雪システムの導入を」

「大雪の際に除雪に関する問い合わせが多く寄せられているとのことであるが、市民に対しては分かりやすく、正確に情報を伝えることが重要と思われる。他都市では除雪車の位置情報をいち早く知らせるため、GPSを活用した除雪システムの導入が進んでいることから、市においても導入に向けて検討を進めるべきではないか。」との質問がありました。

市長は「GPSを活用したシステムの導入が除雪時間の短縮など市民サービスの向上に直接結びつくものではないと認識しており、現時点での導入予定は考えていないが、除雪作業の進捗状況の把握など管理上のメリットもあり、今後も情報収集など調査研究を進めていきたいと考えている。」と答えました。

民生福祉常任委員会

佐藤 勝秋 委員長

街路灯電気料金における負担の在り方 「市の補助率を100%に」

「町内会については、人口減少や少子高齢化に伴い、加入率の低下や解散を余儀なくされるケースが増えてきており、その存続自体が危ぶまれている。現在、町内会で一部負担している街路灯の電気料金は、全市的に負担すべきであり、市の補助率を80%から、100%に引き上げるべきではないか。」との質問がありました。

市長は「現状の仕組みの中では、求められる改善策に沿って進めていくことは困難である。しかし、今後の市民生活に影響を及ぼす可能性があることも認識はしており、街路灯の管理等は『まちを明るくする』という観点からも非常に重要なことであるため、仕組みの改善や今後の在り方等について検討していきたい。」と答えました。

石炭対策・関連エネルギー調査 特別委員会

月田 光明 委員長

国の海外産炭国への炭鉱技術移転等研修事業 「新型コロナウイルス感染症の影響について」

「釧路コールマイン(株)で実施される国の『石炭採掘・保安等に関する技術移転等事業』の研修事業について、今年度は対象国からの研修生の受け入れが9月からの予定とのことだが、新型コロナウイルス感染症への対応として何か考えていることはあるか。」との質問がありました。

理事者は「現在、釧路コールマイン(株)では、国の水際対策として、研修生が入国後、釧路入りする前に一定の待機期間が必要となった場合を想定し、その間のオンライン研修を検討するなどしているが、研修の実施に向けた詳細については、ある程度見通しが立ったのち、事業主体であるJOGMEC(石油天然ガス・金属鉱物資源機構)を通じて対象国と調整を行うことになると聞いている。」と答えました。

都心部市街地整備 特別委員会

大澤 恵介 委員長

釧路都心部まちづくり計画(事業構想編) 「広く市民理解を得られる説明会を」

「『釧路都心部まちづくり計画(事業構想編)』の市民説明会について、平日昼に開催されるとのことであるが、この日程では出席できる市民が限られると思われる。参加希望者が多ければ追加開催を、また少人数のグループであればオンライン説明会も検討するとのことであるが、広く市民の理解を得るためには、土日祝日や夜間の開催をはじめ、大人数を対象としたオンライン開催も検討すべきではないか。」との質問がありました。

理事者は「市としては、この計画の趣旨を丁寧に説明し、一人でも多くの市民理解を得たいと考えていることから、希望に応じて土日祝日や夜間の開催も実施することとし、大人数を対象としたオンライン開催についても検討していきたい。」と答えました。

一部事務組合等議会議員を互選しました

今定例会で、各組合議会議員の辞職に伴う補欠議員の互選が行われました。選ばれた議員は次のとおりです。

- ◆釧路公立大学事務組合議会議員(3人)
三木 均・西村 雅人・板谷 昌慶
- ◆釧路白糠工業用水道企業団議会議員(1人)
秋田 慎一
- ◆釧路広域連合議会議員(5人)
伊東 尚悟・続木 敏博・岡田 遼
工藤 正志・宮田 団

議連の総会を開催しました

今定例会中に、森林・林業・林産業活性化推進議員連盟、日台友好促進議員連盟、日韓友好促進議員連盟、日越友好促進議員連盟、アイヌ政策推進議員連盟が、それぞれ総会を開催しました。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、書面会議による開催とし、決算報告、予算案、役員改選等について承認されました。

永年在職議員表彰

全国市議会議長会から、次の議員が表彰され、今定例会に先立ち、議長から表彰状が伝達されました。

- ◆議員在職20年以上 梅津 則行 議員
- ◆議員在職10年以上 三木 均 議員
金安 潤子 議員
松尾 和仁 議員
森 豊 議員
山口 光信 議員

令和3年第3回6月定例会審議結果

◎ 全会一致で可決(同意・承認)となったもの(28件)

市長提出議案		議員提出議案		
予算	令和3年度 一般会計補正予算(議案第44号)	その他	財産取得の件(旧阿寒湖温泉除雪ステーション)	
	令和3年度 動物園事業特別会計補正予算		新たに生じた土地の確認の件	
	令和3年度 病院事業会計補正予算		町区域の変更の件	
	令和3年度 一般会計補正予算(議案第70号)		工事請負契約の締結に関する件(一般廃棄物最終処分場埋立地造成工事)	
条例	押印等を求める手続の見直しのための関係条例の一部を改正する条例		工事請負契約の締結に関する件(令和3年度堀川団地A棟公営住宅建築主体工事(その1))	
	税条例等の一部を改正する条例		工事請負契約の締結に関する件(令和3年度堀川団地A棟公営住宅建築主体工事(その2))	
	手数料条例の一部を改正する条例		工事請負契約の締結に関する件(令和3年度堀川団地A棟公営住宅管設備工事)	
	病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例		工事請負契約の締結に関する件(令和3年度本町団地地優賃A棟建築主体工事)	
	新産業創造等事業促進条例を廃止する条例		人事	
	ユース・ホステル条例を廃止する条例		固定資産評価員の選任について同意を求める件	
その他	公営企業の設置等に関する条例の一部を改正する条例		専決処分	専決処分報告の件(令和3年度一般会計補正予算)
	財産取得の件(除雪ドーザ)			専決処分報告の件(税条例及び都市計画税条例の一部を改正する条例)
	財産取得の件(除雪グレーダ)			
議員提出議案				
意見書	林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書(提出先:衆・参議院議長、内閣総理大臣ほか8大臣)			
議長付議議案				
互選	釧路公立大学事務組合議会補欠議員互選の件			
	釧路白糠工業用水道企業団議会補欠議員互選の件			
	釧路広域連合議会補欠議員互選の件			

◎ 賛否が分かれたもの(6件)

○賛成 ×反対

市長提出議案		議員提出議案						
件名	会派名[()内は議員数]	自政ク(8)※	公明党(5)	市民連合(5)	共産党(4)	新風(3)	新創ク(2)	審議結果
その他	土地取得の件	○	○	○	×	○	○	可決
	釧路市の特定の事務を取り扱う郵便局の指定の取消しの件	○	○	○	×	○	○	可決
議員提出議案								
意見書	地方財政の充実・強化に関する意見書(提出先:衆・参議院議長、内閣総理大臣ほか5大臣)	×	○	○	○	○	×	可決
	土地利用規制法の廃止を求める意見書	×	×	○	○	×	×	否決
	同性婚の法制化に向けた議論の開始を求める意見書	×	×	○	○	×	×	否決
	入管行政による人権侵害の是正等を求める意見書	×	×	○	○	×	×	否決

◎ 請願・陳情(2件)

○採択 ×不採択

件名	会派名[()内は議員数]	自政ク(8)※	公明党(5)	市民連合(5)	共産党(4)	新風(3)	新創ク(2)	審議結果
請願	EGGの再生に関する件	○	×	○	○	○	○	採択
陳情	東京オリンピック・パラリンピックの開催を中止することを求める意見書の件	×	×	○	○	×	×	不採択

※ 自政クの議員数は9人ですが、松永議長が採決に加わっていないため8人としています。

用語解説

※1 **ふるさと納税**

故郷や応援したい自治体に寄付ができる制度。一定の条件の中で所得税・住民税の控除を受けることが可能で、寄付額に応じた返礼品を受け取ることができる。

※2 **一般廃棄物処理基本計画**

廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和45年法律第137号)に基づき市町村が定める計画で、ごみの減量やリサイクルについての基本的な政策を定めるもの。計画には長期的な政策を定める「基本計画」と、基本計画をベースに毎年のごみ発生量見込みや施策などをより具体的に定めた「実施計画」に分けられる。

※3 **アウトソーシング**

業務の一部を外部に依頼すること。

※4 **生理的貧困**

経済的な理由で生理用品を購入できない状況にあること。

※5 **NPO**

Non Profit Organization(ノンプロフィット・オーガナイゼーション)の略で、さまざまな社会貢献活動を行い、団体の構成員に対し、収益を分配することを目的としない団体の総称。

※6 **SNS**

Social Networking Service(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)の略で、スマホやパソコンを使って人間関係を構築することのできるオンライン上のコミュニティサービスの総称。

※7 **EGG**

『いつも緑の園:Ever Green Garden(エバー・グリーン・ガーデン)』の略で、MOOに併設された、年間を通して木々の緑が楽しめる全面ガラス張りの丸い形の建物。

※8 **GPS**

Global Positioning System(グローバル・ポジショニング・システム)の略で、地球上の現在位置を、人工衛星からの電波で測り知る装置。全地球測位システム。